



地上展示されたブルーインパルス



Q. 小牧基地航空祭とブルーインパルス展示計画
A. 飛行展示は行わず地上展示に

野崎 八十治 議員

Q 小牧基地航空祭で、ブルーインパルスの展示飛行を行うために、指名業者などで組織する「基地協力会」に嘆願署名を出させるなど、異常な執念を燃やしてきた。

春日井市民対策協議会はいち早く反対を表明し、小牧市と豊山町は2市1町で対応するとしてきたが、この間の動きと経過・対応などを尋ねる。

A 基地開庁50年を迎える今年の小牧基地航空祭でのブルーインパルス飛行展示については、9月1日、基地司令より「地上展示」を行うことの説明を受けたところである。

春日井市、小牧市にも同様の説明を受けたと聞いている。

町は、飛行展示を伴わない地上展示であること、基地開庁50年であること、周辺2市も一定の理解を示していることの3点から、やむを得ないものと判断している。

Q. 医療費の窓口一部負担軽減制度の拡充を

A. 一部負担金軽減制度の創設は調査研究する

Q 厚労省は、都道府県に対し「生活に困窮する国民健康保険の被保険者に対する対応について」という通知で、医療機関の未集金問題の未然防止と同時に、低所得者の一部負担金減免などの活用を訴えている。

国保法44条に照らし、生活保護基準を目安に、早急に減免規定を設けるべきだ。

A 国民健康保険医療費の一部負担軽減制度の拡充については、厚生労働省がモデル事業を実施し、その検証結果をベースとして、平成22年度中に統一的な基準を示す。その後、全国的に一部負担金減免等の制度運用の改善をはかるとしている。

これらのことから、厚生労働省の統一的基準や近隣市町の制度内容を勘案しつつ、引き続き一部負担金減免制度の創設について調査研究を行う。

【その他の質問】
・町長2期目に臨む「所信表明」を聞く
・第5特養老人ホームの建設計画について

Q. 安心して働ける預けやすい保育行政を

A. 土曜日開催は運営体制が整い次第進める

野崎 隆子 議員



土日もやってほしい「なかよし会」

Q 学童保育「なかよし会」の土曜日実施の要望が強く求められ、待たれている。新築施設の完成はいつごろになるのか。

A 放課後児童クラブ「プ」なかよし会」の土曜日開催の実施時期は、指導員等の運営体制の準備が整いしたい、進めていく。また、志水なかよし会の施設整備事業は、平成22年度中の着工を予定している。

Q. 退職予定者と職員採用計画は

A. 退職者9名、減員分は新規で採用する

Q 職員の定年対象者と55歳以上の退職希望は何人か。

今後の対応としては、現在の職員数127人が集中改革プランの定員管理で目標としている数値なので、退職による減員分は、新規で採用する予定である。

【その他の質問】
・キャッチボールができる子供の遊び場を
・デジタルテレビ切換えに伴う町や住民への影響

A 定年による退職者は、一般事務職2人、現業職1人、保育士1人の計4人となっている。

